

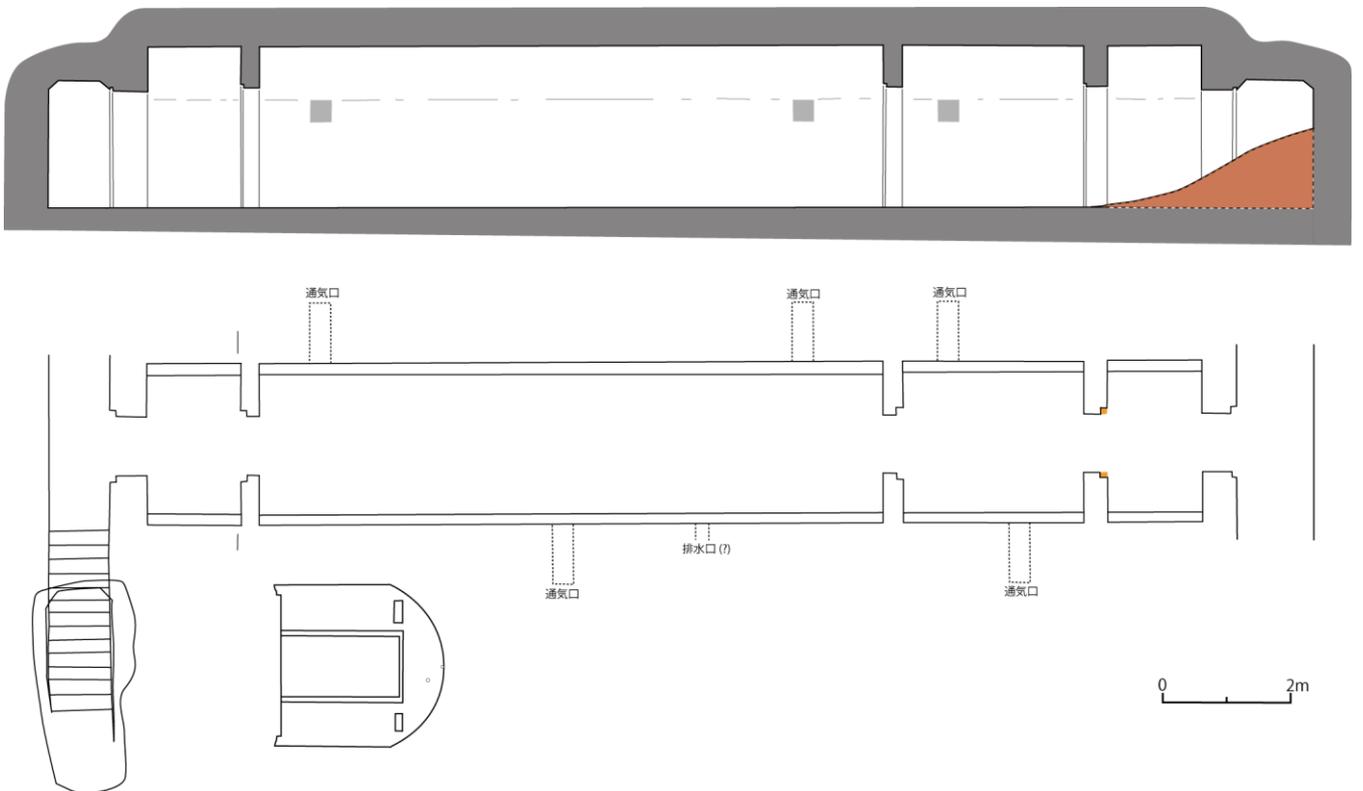
通信所跡の発掘調査

調査に至る経緯

現在の高知大学農学部場所は戦時中、格納庫や兵の居住区として利用されており、兵舎や指揮所などの施設が建っていました。農学部北東部の地下には、海軍航空隊の中核施設である耐弾通信所が残されており、高知大学の駐車場開発計画を受けて、周知の埋蔵文化財包蔵地にあたるため、施設の配置や残存状態等の内容確認のために南国市教育委員会が試掘確認調査を実施しました。

調査概要

所在地	南国市物部乙 200
調査目的	開発計画との調整をはかるための試掘確認調査
対象地面積	4,500 m ²
調査期間	平成 25 年 6 月 24 日～7 月 8 日
調査主体	南国市教育委員会



通信所 1 平面および見通し断面図（コンクリート厚は推定）